

特徴・成功の要因

- ★中学生による活動・請願
- ★地元商店街の積極的な協力
- ★協力議員の存在
- ★市民団体の協力
（「こどもをタバコから守る会」「タバコと健康の会・静岡」）
- ★パブリック・コメントにて、多数の賛成意見
- ★新聞投書：条例への賛成意見、喫煙への苦情など
- ★マスコミの好意的な報道
- ★社会全般の喫煙規制強化：学校敷地内禁煙化など

こどもをタバコから守る会

タバコの害から子供守れ

子供の禁煙教育や市民の意識改革を積極的に進めるため、県内の医師らがこのほど、「こどもをタバコから守る会」を設立した。小児や子供など、煙害弱者の煙害防止に焦点を当てた組織

は県内初。7月1日午後1時から、浜松市早馬町のクリエート浜松で開く「発足記念講演会」(静岡新聞社・SBS静岡放送後援)を皮切りに、学校での禁煙教育、市民向け啓発に取り組む。

県内の医師ら会設立



来月浜松で
記念講演会
啓発に取り組み

メンバーは、県中西部の医師ら約三十人を含む市民約五百人。低年齢期からの喫煙が大きな健康被害を招くことが知られながら、未成年者の喫煙が増加する現状を憂慮。家庭内での喫煙や妊娠中の喫煙など子供の受動的煙害への大人の認識不足も依然根深いことから、会設立を呼び掛け合った。

同会は市民向け講演会をはじめ、幼稚園、小

会員で、子供の能動的、受動的喫煙被害の大きさを説明するメンバーら(浜松市役所

メンバは、県中西部の医師ら約三十人を含む市民約五百人。低年齢期からの喫煙が大きな健康被害を招くことが知られながら、未成年者の喫煙が増加する現状を憂慮。家庭内での喫煙や妊娠中の喫煙など子供の受動的煙害への大人の認識不足も依然根深いことから、会設立を呼び掛け合った。

同会は市民向け講演会をはじめ、幼稚園、小

会員で、子供の能動的、受動的喫煙被害の大きさを説明するメンバーら(浜松市役所

中高校の喫煙授業への医師ら専門講師の派遣、PTAや地域の健全育成会などでのセミナーを通して、青少年、親、一般の意識改革を目指す。

同会によると、県内の小中学校調査でも、小学生で六割、中学生で一〇割以上という高喫煙率を示すデータもあるという。代表世話人で医師の鈴木秀樹さん、八田峰生さんは「医師の間にも強い問題意識はあったが、具体的動きには進まなかった。これまでの努力不足も感じる。青少年教育と合わせて、大人が気付かぬ間に子供の喫煙を促している実情も伝えていきたい」と話している。連絡先は鈴木内科クリニック内の同会事務局(電話053(438)5275)へ。